

0865

一九



陸軍部

陸軍部



連帶
課名



騎
銃
拂
下
件

第八
三
聯

決行後團
覽課名

朝鮮
總督府
警務
總監部

大正九年三月廿九日
大正八年五月十二日
大正八年五月十二日
統一
一九一八

決行
局長

局長

參事官

參事官

課長

聯課
帶長

主務課長

高級副官

警務總監部

主務課長

主務課長



警務總監部

通牒

割官より朝鮮總督府政務總長へ

首題、件ニ關シ四月廿七日附警

二三三四號ヲ以テ願出相成去趣了承

取計ハ陸軍兵器本廠ヲシテ拵下方

代金仕拂ニ關シテハ直接同廠へ

照合相成度依命及通牒矣也

返テ現品ハ龍山兵器支廠ニ於テ交付シ代價ハ騎銃一挺

(銃口蓋、負其並)ニ付金拾圓トシ而京龍山間ノ輸送費

ハ貴署ノ員擔ニ有之矣條申添矣

五月十日

騎銃特別交換ノ件

近衛第一第八第十五師團へ達

其ノ師團騎兵聯隊供用兵器中別

紙ノ通交換ノ為至急兵器廠へ返

納スヘシ

但シ平時用品ノ補填ハ不取敢

戦用品ヲ以テ其ノ代品ハ全

部新品ヲ兵器廠より支給セシ

教育總監部へ通牒

整

置

陸軍士官學校供用兵器中左記
通新品ト特別交換セシノ条兼
知相成度也

一四四式騎銃

銃口蓋 負革
彈藥盒各一ツ附ス

下等品 一〇〇

○騎銃特別交換並拂下ノ件

陸軍兵器本廠ハ達

別紙ノ通陸軍士官學校並騎兵聯
隊供用兵器ノ特別交換方取計ヒ
其ノ返納品ヲ以テ左記ノ通朝鮮

(小松又七印行)

總督府警察官署へ龍山兵器支廠

＝ 於て交付方取計へシ

但し特別交換ニ要スル費用ハ

軍事費兵器彈藥費ノ支弁トス

拂下品ノ受授代金任拂ニ戻シ

テハ直接同署より其廠へ照合セ

シハ代價ハ騎銃一挺(銃口蓋 負傷)

付金拾圓トシ東京龍山間ノ運

搬費ハ同署ノ員擔トス

一四四式騎銃

(銃口蓋 負傷)

二〇〇〇

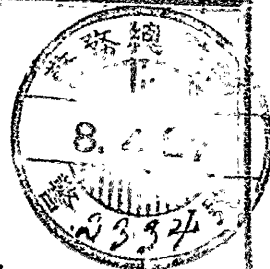
陸軍省 一七八三號 五月廿三日



品別紙
目

<p>四四式騎銃 銃蓋、負革、 彈藥盒各一 個</p>	<p>所管區分 教育總監部</p>	<p>交換部隊 士官學校</p>	<p>交換員數 一〇〇</p>	<p>摘 要</p>
<p>近衛師團</p>	<p>騎兵第一三聯隊</p>	<p>四五〇</p>	<p>各部隊より交換ノ為返納スヘキモノハ 騎銃ニアリチハ最下等品ニシテ特ニ 腔中損傷ノ程度ノ大ナルモノ 軍具ハ管教内ニ空教外ヲ通シテ 可成下等品ニシテ尚使用ニ堪ユル モノヲ撰定スルヲ要ス</p>	
<p>第一師團</p>	<p>騎兵第一六聯隊</p>	<p>四五〇</p>		
<p>第八師團</p>	<p>騎兵第一四聯隊</p>	<p>五〇〇</p>		
<p>第十五師團</p>	<p>騎兵第一五聯隊 騎兵第一六聯隊</p>	<p>五〇〇</p>		

官
廳
外



陸軍省 第七四三 號 第一九八

朝鮮總督府警務總長兒島惣次



陸軍大臣田中義一殿

騎銃拂下之件

朝鮮ニ於テル治安維持上必要ニ付
四四式騎銃二千挺警察官用トシテ
御拂下相成度候也

警務總長印

追 三 當 部 警 務 課 長 東 京 出 張 ノ
 際 銃 砲 課 ハ 打 合 濟 ノ モ リ ニ 付 申 添
 候 也

警 務 課 長 東 京 出 張 ノ

0873



陸軍大臣殿

龍野砲台守備隊長

龍野砲台守備隊長 五月八日

四月十日

龍野砲台守備隊長



小銃銃臺より發射せる件照會
當地ノ情況上龍野砲台守備隊長
君ニ對スル銃器ノ支給ハ極メテ緊要
ナリ要ニ付テハ此際特ニ支給兵器ヲ

下方市産儀が成る及思ふなり也
此為拂下軍支多と其ノ豫算ノ部
合上拂下價格市田示シ得る中係在

考記

- 一 勤員部隊ノ後日整理ニ係リ生シタル
之ハ式銃鏡ニシテ為使用ニ由ルモノ
- 二 各隊ノ右兵器ニシテ為使用ニ由ル
之ハ式銃鏡